

# 検査孔付ねじガス栓 取扱説明書

## (特徴)

1. 従来通りのねじガス栓としてご使用できます。
2. 配管の空気抜き及び気密検査ができます。(両側検査)
3. 上流側の気密検査、空気抜き又は、下流側の気密検査ができます。(片側検査)
4. 燃焼圧が測定できます。

## (取付工事上の注意)

ガス栓の取付においては、ガス栓本体側面にガスの流れ方向が矢印(➡)で表示してありますので、これに従って取付けて下さい。

## (気密検査及び空気抜きの方法)

### A 下流側の気密検査(図1)

1. ガス栓のハンドルを閉にする。
2. 記録計のホースにソケットを装着する。
3. 検査孔キャップを取り外し、記録計と接続します。

### B 上流側及び下流側の同時気密検査(図2)

1. ガス栓のハンドルを開にする。
2. 上流側ガス栓又は容器バルブを閉にして配管にガスを封じ込める。
3. 記録計のホースにソケットを装着する。
4. 検査孔キャップを取り外し、記録計と接続します。  
(ガスを流せばこの状態で燃焼圧の測定も可能)

### C 上流側の気密検査及びソケット開放で空気抜き(図3)

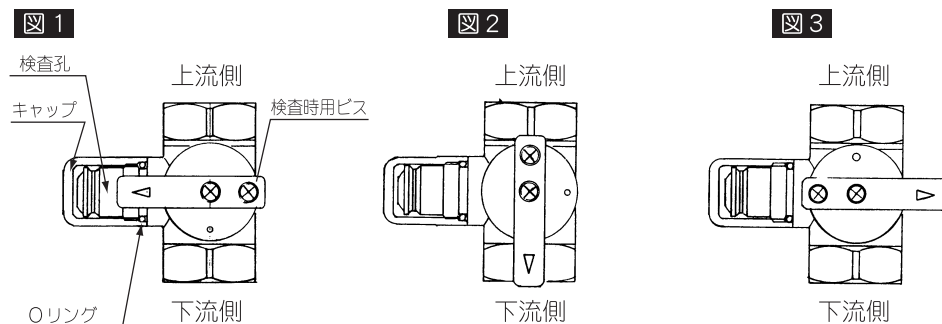
1. ガス栓ハンドルを閉にする。
2. 上流側ガス栓又は容器バルブを閉にして配管にガスを封じ込める。
3. ハンドルの検査時用ビスを+ドライバーで、ビスの頭をハンドルの表面と同じ位置まで緩め、ハンドルを通常時よりさらに時計方向に180度回転させる。
4. 記録計のホースにソケットを装着する。
5. 検査孔キャップを取り外し、記録計と接続します。

## (検査時用ビスの戻し方)

ハンドルを図2の状態に戻し、緩めたビスを元通り締め付けてください。

## (検査孔キャップの取扱い注意事項)

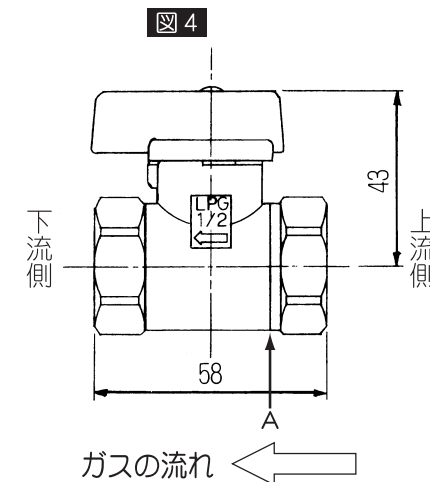
1. 取り付ける前にOリングがプラグ根元に付いていることを確認して下さい。



### ⚠ 警告

- 矢印A部は右回転(右ネジ)にて締め付け接続してあります。
- 左回転に負荷を掛けると緩みガス漏れの原因になります。

- 矢印B部ユニオンナットにスパナをかけて40N・m(400kgf・cm)~50N・m(500kgf・cm)のねじ込み力で締め付ける。



## 伊藤鉄工株式会社

愛知県碧南市道場山町1-70  
TEL (0566) 41-4328  
FAX (0566) 48-0692